

防災豆知識 vol.11



令和7年6月17日
梅丘まちづくりセンター

テーマ「避難所」

その10 避難所運営訓練

今回は、各避難所で工夫して行っている避難所運営訓練の一例をご案内します。

1. 避難所運営会議・訓練の年間スケジュール（理想的なスケジュールの例）

- 第1回 避難所運営会議（委員顔合わせ、避難所防災倉庫の確認）
- 第2回 避難所運営会議（避難所マニュアルの確認、運営訓練打ち合わせ）
- 第3回 避難所運営訓練（避難所の資機材を自分たちで操作する訓練）
- 第4回 避難所運営訓練（避難所を開設し運営までを体験する訓練）
- 第5回 避難所運営会議（1年間の振り返りと次年度の計画策定）

2. 避難所運営会議

避難所運営会議では、避難所運営委員の顔合わせ、避難所運営マニュアルの確認と各避難所の体制に合わせた修正等を行います。毎年、新しい委員が加入されると思いますので、年に1回はマニュアルを確認していただきたいと思います。

3. 避難所防災倉庫の確認

毎年12月～3月頃に、防災倉庫内の保存期限切れ前の備蓄物資を入れ替え、在庫確認を行います。年度初めには、新しい備蓄物品リストを配布できますので、1回目の会議後に倉庫内を確認するとスムーズかと思います。

4. 避難所運営訓練

（1）資機材操作

避難所用防災倉庫に保管している資機材を、自分たちで倉庫から搬出し、組み立て、操作できるようになることが理想です。

慣れるまでは、地域振興課による説明と操作の指導を受け、慣れてきたら避難所運営委員のみで操作する訓練です。

（2）避難所運営

避難所の鍵開けから始まり、初動ボックスの活用、受付の設置、立入禁止区域の設定、体育館の区割りの設定、まちセンとの防災無線交信等、実際の開設作業に則した行動を行うものです。

高齢者や乳幼児等の部屋の割り振り、ペットスペースの設営といったマニュアルで計画した内容を実際に行ってみて、不都合が無いか確認をします。

5. 避難所運営訓練の形態

資機材操作訓練や避難所を運営する訓練を重ね、避難所運営について習熟してきたら、このような訓練も取り入れてはいかがでしょうか。

(1) 条件付与型訓練

条件付与型訓練とは、避難所で想定される状況を与えられ、それに対応する方法を考えながら行動・体験する訓練です。

訓練方法は、まず訓練を体験する4つのブース「総務・情報」「避難所」「救護・衛生」「給食・物資」を作ります。

参加者は、避難者という想定で避難所の仕事をお手伝いします。

参加者を4つのグループに分け、更に3～4人の班を作ります。グループごとに4つのブースを回り、それぞれのブースで各班1つずつお手伝い内容が書かれた「お手伝いカード」を受け取り体験します。体験したら「ありがとうカード」と交換します。4つのブースを回って「ありがとうカード」が4枚集まったら、炊き出しの食料（あるいは啓発物品等）と交換します。

お手伝い内容の例を挙げると、総務・情報では「校舎東昇降口に余震の影響でヒビが入っているとの連絡がありました。現場を確認し、状況を報告してください。（ヘルメット着用）」、給食・物資では「待ちに待った救援物資が届きました。雨に濡れないよう校舎西昇降口に運び、届いた物を物資管理台帳に記入してください。」といったように、実際の避難所での対応を体験できるようにします。お手伝い内容は、避難所運営マニュアルやHUG（避難所運営ゲーム）のカードから作成します。

(2) 避難所宿泊体験訓練

文字通り避難所の宿泊を体験する訓練です。

避難所運営委員は、避難所を開設し受付を設営するまでの一連の作業を「総務・情報」「避難所」「救護・衛生」「給食・物資」の各班が行います。

訓練参加者は、まず受付で「受付カード」に記入をして提出します。その際に、炊き出しのご飯の引換券を渡します。

参加者は、体育館に集まり、避難所の説明を受けます。その後、グループに分かれて「発電機操作」「炊き出し」「マンホールトイレの組み立て」「簡易トイレの設営」「応急給水栓のスタンドパイプ操作」等の訓練を行います。

訓練が終わったら炊き出しのアルファ米を受け取り、食事となります。

【参加者の持ち物】

夕食のおかず（缶詰、佃煮など。ご飯は炊き出しのアルファ米を支給。）・飲み物・懐中電灯・宿泊時寝具（寝袋、タオルなど）・靴入れ袋・新聞紙またはレジャーシート・虫除け・着替えなど、その他自分で必要と思うもの。そして、可能ならば、非常用持ち出し袋も持参してもらいます。

食後は、大人の会議と子どもは別の部屋でお楽しみ映画会等を行います。

大人の会議では、避難所のルールや防災についての話し合い、そして、非常用持ち出し袋の点検を行います。「我が家の非常用持ち出し袋自慢」をしていただくのも…

大人の会議が終了したら、就寝準備をして22時には消灯、朝は6時起床。

ラジオ体操後、帰宅の準備をして、参加者から感想などをお聞きし、7時には解散します。朝食は、皆さんご自宅で！

避難所となる体育館での1泊ですが、夜中のいびきや足音などから、参加者は「避難所に泊まりたくない。在宅避難したい。」となるはず…です。

運営委員の皆さんも、在宅避難をしつつ通いで運営をという気持ちになるかと…

次回は、在宅避難者への対応についてご案内します。